

鶴嶺小学校区推進協だより

第60号 2023年11月15日(令和5年)

編集・発行

鶴嶺小学校区青少年育成推進協議会

事務局：矢畑 717 山上 壽子 Tel (83) 1953

つるのこ

地域で育てよう、子どもたち

青少年育成推進協議会とは…地域の皆様すべてが会員です。地域に住んでいる人々が協力しあい連携を取りながら青少年の幸せを願う組織です。小学校区を単位として、青少年にかかわる団体や、地域の人々が中心となり活動しています。

第20回 夏休みラジオ体操



令和元年の開催から、コロナ禍という状況により叶わなかった夏休みラジオ体操の通常開催。4年ぶりの今年は、7月と8月のそれぞれ3日間、計6日間開催できました。3年間のブランクは、人員の確保等不安なこともありましたが、様々な方々のご協力により乗り切ることができ、今後の活動への意欲に繋がりました。

校長先生はじめ参加して下さった先生方、スポーツ推進委員の方々、ありがとうございました。



7月の参加賞



8月の参加賞

6日間の延べ参加人数	子ども	1242名
	大人	590名
	合計	1832名

大人のための交通安全教室

2023年9月7日(木) 鶴嶺東コミュニティセンターにて『大人のための交通安全教室』を開催しました。市役所安全対策課の方から、自転車ルールブックにそって講習を受けました。

参加人数 26名



山上会長挨拶



市役所安全対策課の皆さん



問い合わせ先・神奈川県
くらし安全交通課

茅ヶ崎の現状

茅ヶ崎市民の自転車保有台数は一世帯当たり2.38台と平塚市より多い。令和4年度の全人身事故389件のうち自転車関係の事故が140件と、神奈川県内で20年連続自転車事故多発地区となってしまう。

事故の特徴

- ☆出会いがしらがが多い
- ☆朝の通勤時間帯 ⇒ 8時から10時
- ☆生活道路

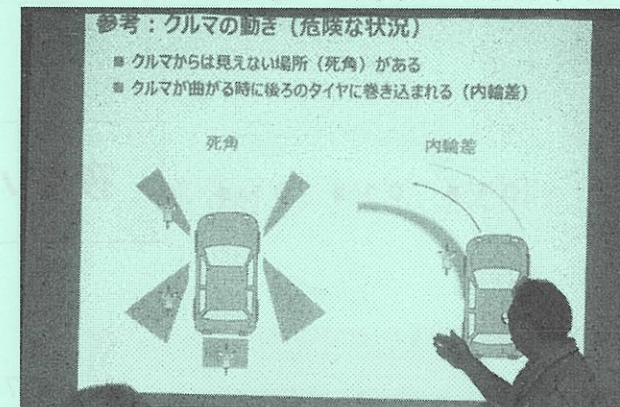
⇒自分が良くわかっている道路という油断が事故を招く

自転車でも加害者になる可能性を知る

- ☆小学生の乗った自転車でも加害者になると賠償金が数千万円になることもある
- ⇒加害者が子どもなら親が賠償責任をおう
- ☆神奈川県自転車条例にて、自転車損害賠償責任保険等の加入が義務化されている

自転車安全利用五則 違反した場合、罰金または料あり

- ① 車道が原則、左側通行
 - ・自転車は乗れば車である
 - 例外⇒『自転車歩道通行可』の標識がある歩道
 - 13歳未満の子ども、70歳以上の高齢者等
 - 歩道を走る時の注意
 - ・歩道の車道側、歩道の幅半分より車道側を歩行者優先で走る事
 - ・急に乗り入れない事
- ② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
自転車に従うべき信号は
 - ※車道を走行中 ⇒ 車両用信号
 - ※自転車横断帯、もしくは横断歩道を通り歩行者等 ⇒ 歩行者用信号
 - ※「歩行者・自転車専用」信号機がある場所 ⇒ 歩行者・自転車専用
 - ※右折は必ず二段階右折
- ③ 夜間はライトを点灯
 - ・自分が見やすいのと同時に、他者に存在を知らしめるため薄暗い時間帯から点灯する
- ④ 飲酒運転の禁止
 - ・車と同じで勧めるのもいけない
- ⑤ ヘルメットを着用する
 - ・令和5年4月よりすべての利用者が対象
 - ・自転車事故時に着用していないと2.6倍の致死率になる



スライドを使った講義

その他の注意事項

- ・ながら運転の禁止 違反した場合 5万円以下の罰金
神奈川県道路交通法施行細則
- スマホ・携帯電話等の禁止、イヤホン等の使用禁止、傘さし運転の禁止
- ・緊急車両が来たときも車と同じく徐行あるいは停止すること

ルールを守って自転車交通事故を減らして、

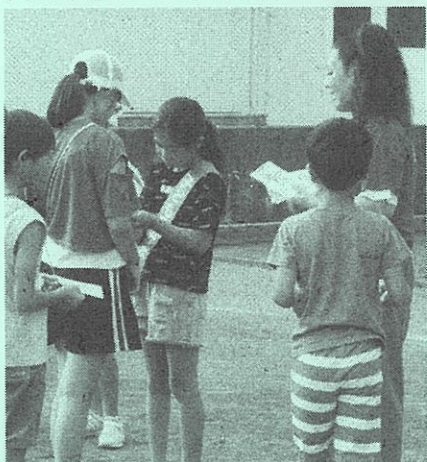
「自転車のまち 茅ヶ崎」と言えるようにしていきましょう

子ども会サポーター誕生

今年のラジオ体操から『子ども会サポーター』の活動が始まりました。これは、子ども会に加入している子どもたちに、スタッフとしても参加してもらうものです。

今回は、ラジオ体操カードへのスタンプ押しや、参加賞の配布など大忙しでしたが、「またやりたい」「楽しかった」などの感想が聞かれました。また、「どうしたらサポーターになれるか？」とのお問い合わせもあり、子ども会のアピールに一役買う活動にもなりそうです。

今後も小さな役員さんの活動に乞うご期待！応援もよろしくお願いいたします。



オレンジ色のタスキが目印

夜間パトロール実施



出発前に井上環境部部長より挨拶

今年も夏休み夜間パトロールを行いました。

7月28日(金) 小学校出発 通学路周辺 参加人数28名

※パパボランティアさん2名参加

8月25日(金) 中学校出発 中学校学区周辺

参加人数19名

小学校通学路について

- ・新しい家が増えて、見通しの悪くなった場所がある
- ・家が増えたことで、車の通りも以前より多くなっている

中学校周辺について

- ・小学校の通学路に比べ道幅が狭く、車のすれ違いも困難な場所が多い
- ・西久保方面は街灯も少なく、暗いところが多い

以上のような報告をもとに、各方面へ改修などのお願いをしつつ、子どもたちが安全に生活できるよう見守っていきます。